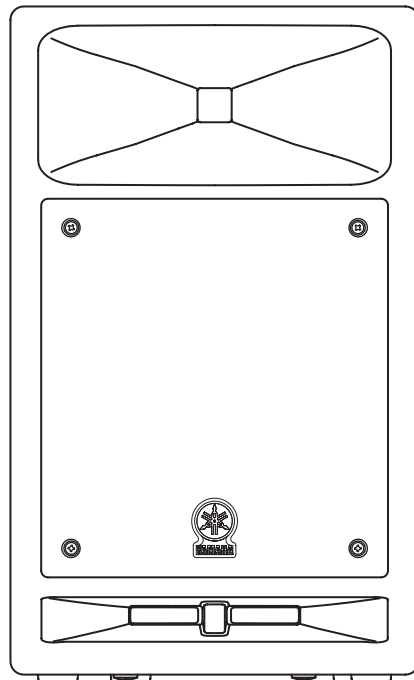




学校用モニタースピーカー

SMS100

取扱説明書



このたびは、学校用モニタースピーカー SMS100 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。SMS100 は、コンパクトサイズながら優れた低域再生能力と高音質を実現しています。また、100W の大出力パワーアンプとミキシング機能を搭載しておりますので、幅広い用途にお使いいただけます。SMS100 の優れた性能を十分に生かして、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

目次




！安全上のご注意	
- 安全にお使いいただくため -	2
！使用上のご注意	
- 正しくお使いいただくため -	3
各部の名称と機能	4
接続例	5
仕様	6
総合仕様	6
アンプ部	6
寸法図	6
特性図	6
ブロックダイアグラム	6

！安全上のご注意 —安全にお使いいただくため—

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示 この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。












絵表示の例

-  : 注意（危険・警告を含む）を促す事項
-  : 決しておこなってはいけない禁止事項
-  : 必ずおこなっていただく強制事項










警告

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置されるとき	
 <ul style="list-style-type: none"> ●この機器は AC100V 専用です。それ以外の電源（AC200V、船舶の直流電源など）では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器に水が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ●電源コードの上に重い物をのせないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かずに重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることは、起こりがちなことです。十分にご注意ください。 ●この機器の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品なども同様です。 	 接触禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●落雷のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。  分解禁止 <ul style="list-style-type: none"> ●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器のカバーは絶対を外さないでください。感電の原因になります。内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、お買上げ販売店にご依頼ください。  <ul style="list-style-type: none"> ●この機器には付属の電源コードをご使用ください。それ以外のものを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
使用中に異常が発生したとき	
 <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードには、感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行ってください。 ●この機器は電源スイッチを切った状態でも完全に主電源が遮断されていませんので、機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●断線・芯線の露出など、電源コードが傷んだら、お買上げ販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  <ul style="list-style-type: none"> ●煙が出る、変なにおいや音がするなどの異常がみとめられたときや、内部に水などの異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。  プラグをコンセントから抜く
ご使用になるとき	
 <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。 ●この機器のポートに金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落としてこんだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくに、お子様のいるご家庭ではご注意ください。 	 プラグをコンセントから抜く <ul style="list-style-type: none"> ●万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 プラグをコンセントから抜く <ul style="list-style-type: none"> ●雷が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 	

⚠️ 注意

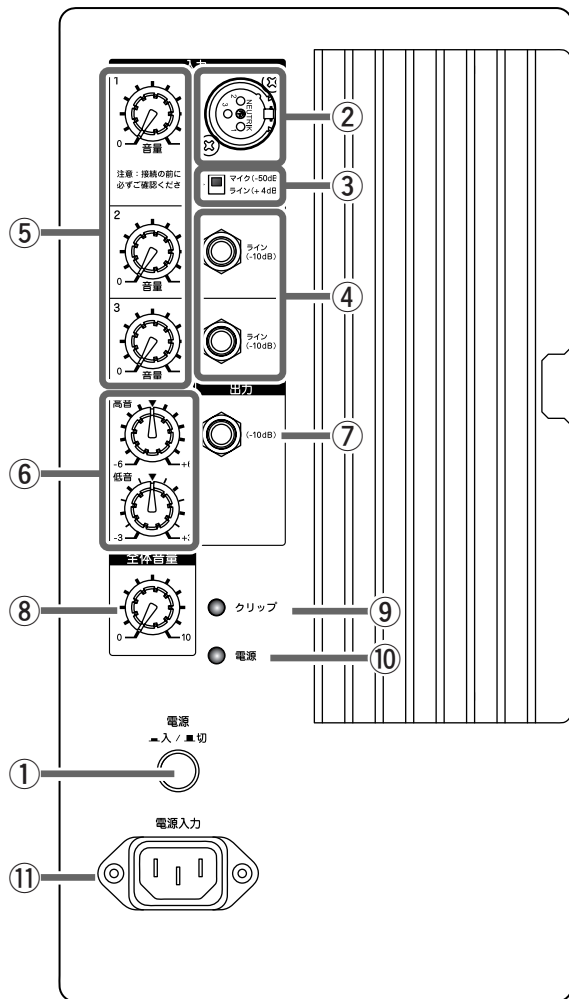
この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置されるとき	ご使用になるとき
<p> ● 火災・感電やけがなどを避けるため、次のような場所には置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所。 ・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。 ・窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。 ・湿気やほこりの多い場所。 <p>● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。</p> <p>● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>● この機器の通風孔をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、この機器には通風孔があけてあります。通風孔がふさがると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p> <p>とくに、次のような使い方は避けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器をおお向けや逆さまにする。 ・本箱や押し入れなど、専用ラック以外の風通しの悪い狭いところに押し込める。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。 	<p> ● 楽器、オーディオ機器、スピーカーを接続する場合は、接続するすべての機器の電源を切ってください。それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。</p> <p>● 電源を入れる前に音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <hr/> <p> ● 音が歪んだ状態で、長い時間、使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p> <p>● スピーカーを、不快に感じるほどの大音量では使用しないでください。大きな音を長い時間または習慣的に聴くと、聴覚障害の原因になります。</p> <p>● スピーカーの上に乗らないでください。倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <hr/> <p> ● 旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。火災の原因となることがあります。</p>
<p> ● 機器を移動する場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p> ● お手入れの際は、安全のため、電源プラグをコンセントからぬいてください。感電の原因となることがあります。</p>
<p> ● 放熱をよくするために、壁や他の機器との間に隙間をとってください。隙間の大きさは、側面では 30cm、背面では 30cm、天面では 30cm 以上必要です。放熱が不十分だと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>	

! 使用上のご注意 — 正しくお使いいただくため —

コネクタの極性について	携帯電話からの影響について
<p>● XLR タイプコネクタのピン配列は次のとおりです。 1: シールド (GND)、2: ホット (+)、3: コールド (-) これは、IEC60268 規格に基づいています。</p>	<p>● この機器のすぐ近くで携帯電話を使用すると、本機にノイズが入ることがあります。そのようなときは、少し離れた場所で携帯電話をご使用ください。</p>
<p>設置されるとき</p>	
<p>● このスピーカーは非防磁型のため、ディスプレイに色ムラが生じることがあります。そのときは、ディスプレイから十分に離して設置してください。</p>	

各部の名称と機能



① 電源 スイッチ

SMS100 の電源をオン(入)、オフ(切)するスイッチです。スイッチを押してオン(入)にすると、電源インジケータ(⑩)が緑色に点灯します。

② 入力1 端子

XLR-3-31 タイプのバランス型端子です。2つのレベルの接続ができます。感度切り換えスイッチ(③)をマイクにすると、マイクロフォンなどのマイクレベルに接続できます。感度切り換えスイッチ(③)をラインにすると、ミキサーなどのラインレベル機器に接続できます。

③ 感度切り換えスイッチ

入力1端子をマイクレベル(マイク)または、ラインレベル(ライン)に切り換えるスイッチです。

④ 入力2 端子、入力3 端子

1/4 インチ標準フォーンのアンバランス型端子です。オーディオ機器、電子楽器などを接続できます。

⑤ 音量コントロール

入力1端子、入力2端子、入力3端子(②④)に入力された信号のレベルを調節します。

⑥ 音質コントロール

高音：
高音域を調節するイコライザーです。基準周波数10kHzで-6dBから+6dBの範囲で調節します。右に回すとブースト、左に回すとカットします。

低音：
低音域を調節するイコライザーです。基準周波数60Hzで-3dBから+3dBの範囲で調節します。右に回すとブースト、左に回すとカットします。

⑦ 出力端子

入力1端子、入力2端子、入力3端子(②④)に入力された信号をミックスして出力します。

⑧ 全体音量コントロール

全体の音量を調節します。

⑨ クリップインジケータ

出力レベルが高すぎてアンプにクリッピングが生じたときは赤色に点灯します。そのときは、音量コントロール(⑤)または全体音量コントロール(⑧)のレベルを下げてください。

⑩ 電源インジケータ

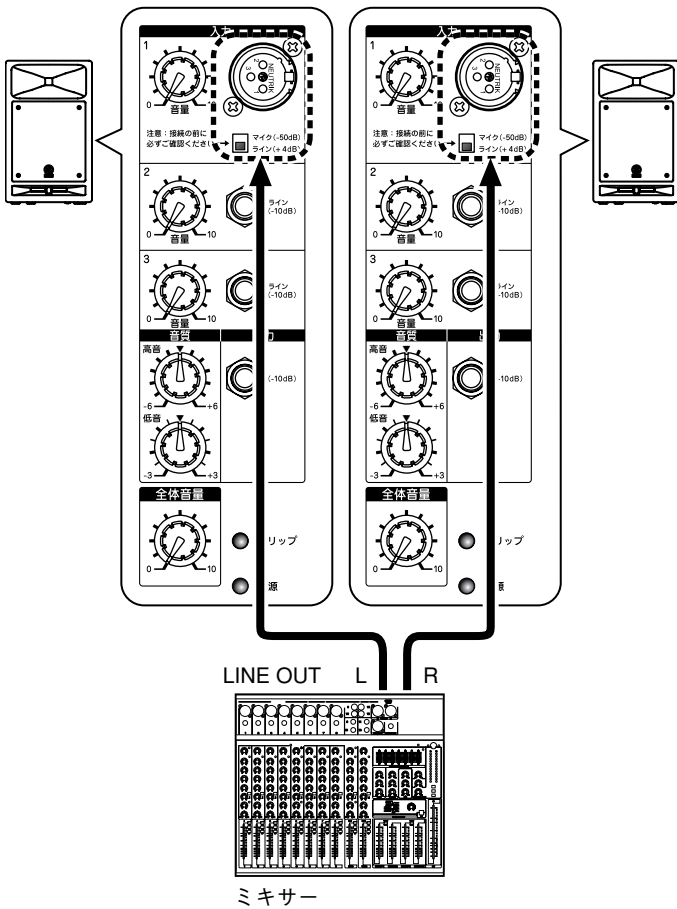
電源スイッチ(①)をオン(入)にすると、緑色に点灯します。

⑪ 電源入力端子

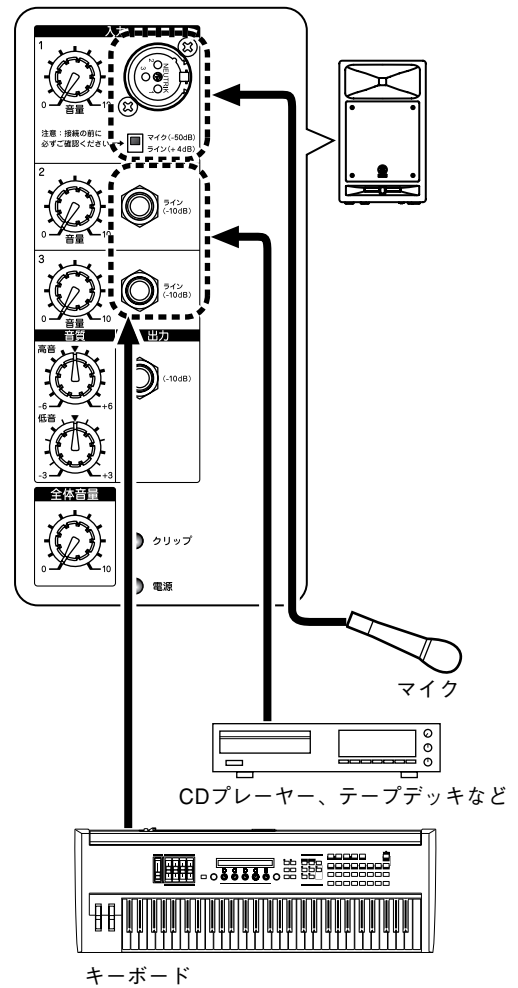
付属の電源コードを接続します。

接続例

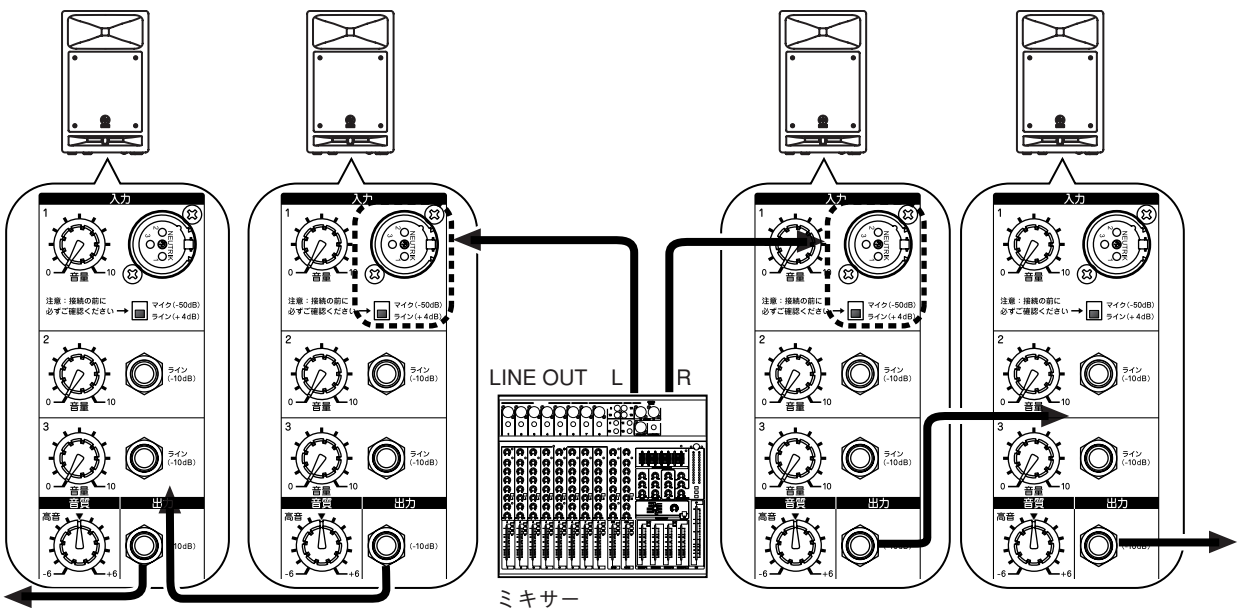
ミキサーを接続する場合



直接マイクなどを接続する場合



デジチェーン接続の場合



仕様

● 総合仕様

形式

2ウェイバスレフ型パワードスピーカー

スピーカーユニット

LF: 200mm コーン

HF: 25.4mm コンプレッションドライバー

再生周波数帯域.....55Hz ~ 20kHz(-10dB)

クロスオーバー周波数.....4kHz

最大出力音圧レベル.....112dB (軸上 1m)

最大外形寸法(W×H×D).....275×455.5×255mm

質量.....11kg

色.....黒 (近似マンセル値

5PB2/1)

付属品.....電源コード (AC インレット型、2.5m)

オプション.....BWS50-190/260/320、BCS251、BBS251

● アンプ部

定格最大出力.....100W at 1kHz、THD=1%、RL=6Ω

入力感度.....入力1: -50dB* (マイク)、+4dB* (ライン)

入力2、3: -10dB*

入力インピーダンス.....入力1、2、3: 10kΩ

出力感度.....出力: -10dB*

出力インピーダンス.....出力: 10kΩ

コントロール

音量コントロール.....入力1、2、3、全体音量

音質コントロール.....低音: ±3dB at 60Hz

高音: ±6dB at 10kHz

電源スイッチ.....入/切

コネクター

入力1.....XLR-3-31 (バランス型)

入力2、3.....フォーン (アンバランス型)

出力.....フォーン (アンバランス型)

インジケータ

電源インジケータ.....緑色発光LED

クリップインジケータ.....赤色発光LED

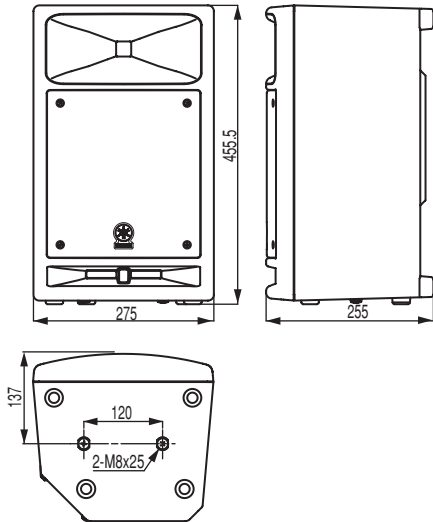
電源.....AC100V、50/60Hz

消費電力.....65W

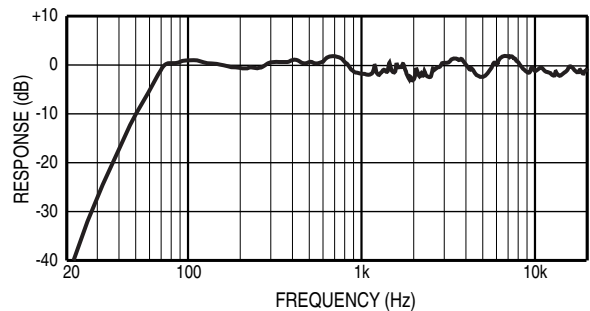
*0dB=0.775V

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

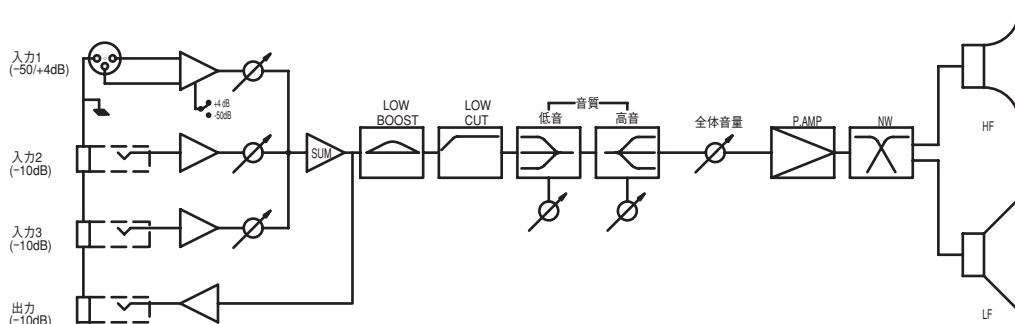
寸法図



特性図



ブロックダイアグラム



サービスについて

■ 保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめの上、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■ 損害に対する責任

この商品（搭載プログラムを含む）の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■ 調整・故障の修理

「故障かな？」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みにになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理に際しては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのもかも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、その最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

■ お客様ご相談窓口

製品に関するご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問い合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へお寄せください。

●お客様相談窓口：管・教育楽器に関するお問い合わせ窓口

北海道	☎ 011-512-6122	〒 064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台	☎ 022-222-6146	〒 980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10
東京	☎ 03-5488-1672	〒 108-8568	東京都港区高輪2-17-11
名古屋	☎ 052-201-5166	〒 460-8588	名古屋市中区錦1-18-28
大阪	☎ 06-6252-5341	〒 542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館
九州	☎ 092-472-2155	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4

国内楽器営業本部

管弦打学校営業統括部 ☎ 03-5488-1686 〒 108-8568 東京都港区高輪2-17-11

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お持込み窓口

北海道サービスステーション	☎ 011-512-6108	〒 064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスステーション	☎ 022-236-0249	〒 984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
首都圏サービスセンター	☎ 03-5762-2121	〒 143-0006	東京都大田区平和島2-1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
浜松サービスステーション	☎ 053-465-6711	〒 435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒 454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
大阪サービスセンター	☎ 06-6877-5262	〒 565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	☎ 087-822-3045	〒 760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
九州サービスステーション	☎ 092-472-2134	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/CSセンター	☎ 053-465-1158	〒 435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階

PA0206

※所在地・電話番号などは変更されることがあります。



ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

M.D.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2002 Yamaha Corporation
209AP-01A0
Printed in China